

三人組ヒストル強盗事件 今早曉完全に解決

涼台を賑はす事前第一週間 誤らざりし多数の第六感

去月廿九日午前二時事件突発(？)以来最初から頗る疑はしい點だらけの眉唾事件が相手は曾ては郡の酒造組合長たりし程の有志であり確たる証據が擧げられ、頭から虚偽の申告として片付けて終ふ事ならず大體假設の事件に對し伊藤署長以下所轄平全署員は勿論横山刑事課長以下所謂警察界の智能を総動員して之が檢察の奔命に全警官を結ぶの如く疲れしめた平町久保町酒造業永山和平方氏の聞かされたに戦慄を禁じ得ざる三人組ヒストル強盗事件は、その報一たび傳はり地方人士をして驚心駭目せしめて以來茲に滿一週間、今日五日前四時、當の本人永山和平方氏の供述によつて事件は竟に根も葉も無き假設の一大トリックとして清算されるに至つた。涼台を賑はした物語の話題は今や完全に拂拭されて人は安んじ鶏犬嬉戯し平町は再び以前の平靜に還つた。

愈々結論に到達 最後の大評定

圖星を衝いた捜査方針

適々渡警察部長の初巡視を入り代りに和平方本人の一日の後に控へた平署では頭を求めて長澤警部補から一昨三日深夜更に至る迄最寸分の隙無き詰問を進め、後の捜査方針に關する大評や全然論議を弄する餘地無定を開いた結果署僚の意向に歸納して最後の答辯は期せずして内部を洗つて求めた結果最終に申告の事真相を究めやうと云ふ事實ならざりし事を自供の事に一決し先づ事件發生に至つたので今四時半時向ひの蘆原屋吉田部春吉吉田吉氏及常同家の内外方の電話を以て警察へ急報を切り廻してある親戚の某の主要役割を演じ和平方氏に引渡された、因に本人二女とみ(三)を召喚取調への供述に基づき同家を調べる結果最初から第六感をた感ずるが現金五百餘圓裏書きするに有力なる端緒を發見したを得たるもの如く同人と

腑に落ちぬ節々

併し申告を尊重して

由來該事件は三伏の暑熱に捜査續行したるは和平方以外何人も無き事なりし事を現認し、強盗の三人組最終納期前二三日の餘裕ある二十九日夜に於て點幣のみを調へあつた點幣が一般の傾向なるに自家に止め置きたる點幣、極度の恐怖に動揺した結果とは謂へ餘りに柔順に賊の要求を容れたる點幣、遺失物盗難品等は多くの場合警察力を信頼して

最初の籠球制覇戦に 各小學校練習を開始

來月高月台上の壯觀

縣中競技部主催三郡小學校今年度の参加校は十校位であつたが、各校の練習が開始され、來月高月台上の壯觀な試合が行はれる。

伊藤署長代時

伊藤署長が代時として署に赴き、事務を進行する。

渡警察部長が 坑内作業視察

渡警察部長が坑内作業を視察し、安全対策を指示する。

平署巡視

平署の巡視員が各区域を巡回し、治安維持を図る。

満洲行

満洲行の準備が整い、出発の日が近づいてくる。

出場者が少い為 豫選會取り止め

陸上競技の豫選會が参加者が少ないため取り止めとなる。

神宮豫選

神宮の豫選會が予定通り行われ、選手が活躍する。

平消防野球

平消防隊の野球チームが練習を重ね、試合に臨む。

那女教員 遊藝講習

那女教員が遊藝講習を受け、スキルを向上させる。

綺麗にお化粧した 第一校の飛行機

第一校の飛行機が綺麗にお化粧され、出発を待つ。

飛行場より無償拂下を受け た戦機格納庫を校庭東

飛行場より無償拂下を受け、戦機格納庫が校庭東に移転する。

体操講習會

体操講習會が開催され、選手が技術を磨く。

腐りかけて来た 尼子、鎌田の二橋

尼子、鎌田の二橋が腐りかけて来たため、修繕作業が急務となる。

夏祭りで騒動 小名

夏祭りで騒動が起き、小名が関係する。

英靈を將來 永く弔ふ

英靈を將來永く弔ふための活動が行われる。

平第一臨海學校通信 (三日) 第三信

平第一臨海學校通信の第三号が発行される。

山形節申合

山形節申合が開催され、地域文化が盛り上がる。

夏祭りで騒動 小名

夏祭りで騒動が起き、小名が関係する。

英靈を將來 永く弔ふ

英靈を將來永く弔ふための活動が行われる。

茶話會は昨夕の豫定で なつたので、今夕に變更

茶話會の開催が変更となり、今夕に開催される。

平町慶弔

平町の慶弔行事が行われ、地域が一体となる。

茶話會は昨夕の豫定で なつたので、今夕に變更

茶話會の開催が変更となり、今夕に開催される。

茶話會は昨夕の豫定で なつたので、今夕に變更

茶話會の開催が変更となり、今夕に開催される。

茶話會は昨夕の豫定で なつたので、今夕に變更

茶話會の開催が変更となり、今夕に開催される。

茶話會は昨夕の豫定で なつたので、今夕に變更

茶話會の開催が変更となり、今夕に開催される。

大和田醫院

耳鼻咽喉科専門
平町南町(電話一〇七番)

大和野音吉

吉野家清野音吉

佛具類

佛具類、佛具類、佛具類

シシガキ

シシガキ、シシガキ、シシガキ

大和野音吉

大和野音吉、大和野音吉

大和野音吉

大和野音吉、大和野音吉

大和野音吉

大和野音吉、大和野音吉

大和野音吉

大和野音吉、大和野音吉